

こんにちは 山田耕平 です

2020.12.24 No.395

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp



西荻北児童館・善福寺児童館廃止に関する住民説明会 住民合意無く廃止…見直しを求める声相次ぐ



善福寺児童館の説明会には50名を超える住民が参加。

12月22・23日、西荻北児童館・善福寺児童館の廃止に関する住民説明会が開催されました。どちらの説明会でも、参加住民から計画見直しを求める声が続きました。

「計画ありき」の区の説明 参加住民から怒りの声

2児童館の廃止方針は区立施設再編整備計画にも位置付けられておらず、突如として、第4回区議会定例会保健福祉委員会に報告されました(週刊ニュース392号に詳細)。パブリックコメント等も実施されておらず、地域住民への説明や意見聴取の機会も無いまま、児童館廃止・機能移転方針が決定されたことに、住民の驚きと怒りの声が続いています。

住民説明会に参加した保護者や児童館関係者からは、計画の進め方への疑問の声や「計画ありき」で説明会を実施している区の姿勢への怒りの声が寄せられました。

中・高生委員が涙ながらの訴え

善福寺児童館では中・高生が児童館運営にも積極的に関わっています。歴代の児童館利用児童が成長し、中・高生委員会を担っており、小中高生が一体となって、地域の子ども達の拠点を作っています。

学童クラブ・放課後等居場所事業は民間委託

2児童館移転後の学童クラブ・放課後等居場所事業は民間委託されます。下記・杉並区行財政改革推進計画(2019~2021年度)の改定を先取りし、計画決定前に委託方針を決めることは重大な問題です。

項目名	学童クラブ運営委託の推進		
取組内容	学童クラブ運営を段階的に民間事業者へ委託していきます。		
	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度
	運営委託の実施 新規 3クラブ	運営委託の実施 新規 3クラブ	
効果	<財> <定>	<財> <定>	
担当課	児童青少年課		

<財> 財政効果
<定> 職員定数削減
2022年度以降の計画が決定していない段階で委託を決定した。

住民の声を受け止め 廃止計画の見直しを!

世代を超えて子ども達の拠点となってきた児童館を守ってほしいという声は、保護者、町会関係者、民生・児童委員、青少年育成委員会、中・高生委員会、学校関係者等から共通して寄せられています。区は、この声を受け止め、計画の見直しを検討すべきです。

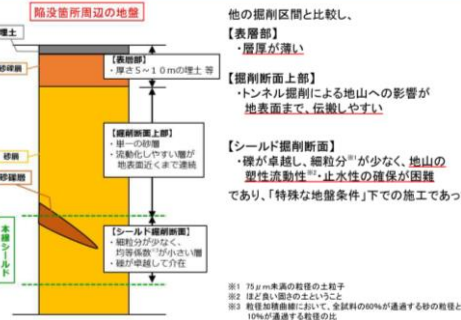
説明会では、中・高生委員会の高校生が「小学生も含めてみんなが集まれる場所を残してほしい」と涙ながらの訴えを行ないました。一方、区は「丁寧に進める」と計画に固執する回答を繰り返しました。当事者である子ども達の見方や声を聞くこともなく、計画を強行することは許されません。

東京外かく環状道路トンネル工事現場で発生した陥没事故、地中空洞 事業者 工事との因果関係を認め補償へ

④ 陥没・空洞の要因分析(中間報告) [総括]

- ここまで、陥没・空洞事象について、想定される要因を列挙し、調査結果や施工データを用いて分析を行ってきました。
- 陥没・空洞事象は、年月をかけて形成された地下空洞があらかじめあった可能性は否定できないものの、陥没・空洞の下部がトンネル方向に局所的に引き込まれている現象がボーリング調査によって確認されていることから、特殊な地盤条件下において行われたシールドトンネルの施工が、陥没地点を含む空洞の要因の一つである可能性が高いと推定されます。
- 現時点では、シールドトンネルの施工が陥没・空洞が形成の要因となったメカニズムの特定には至っていないため、引き続き残る現地調査やそれらも踏まえた検証を早期に行い、メカニズムを特定する必要があります。

② 地盤の特性 [施工・地盤条件まとめ]



10月18日、東京外かく環状道路（外環道）トンネル工事現場直上における陥没事故と地下巨大空洞の発見について、12月18日、NEECO東日本は、トンネル工事の陥没の原因であることを認め、被害の賠償に応じることを明らかにしました。

資産価値下落等への補償を示さず

事業者は家屋被害等への補償を示したものの、資産価値下落への対応を明言していません。近隣住民からは、陥没事故や地下空洞の発見により「家の資産価値」に与える影響を不安視する声が多く出されています。

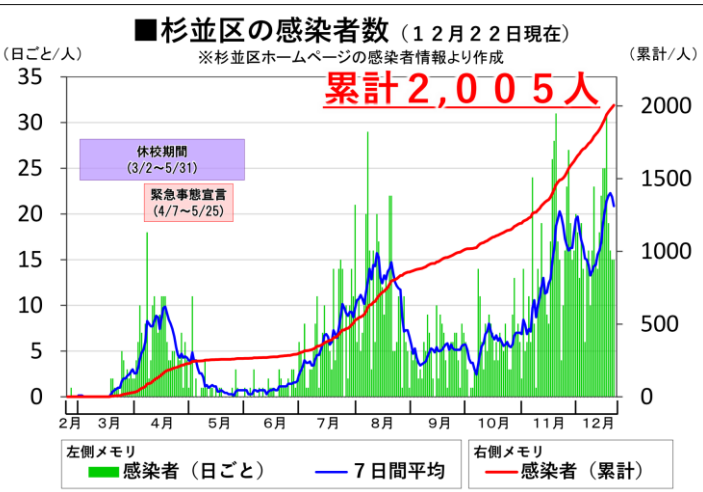
調布市の住民説明会資料（詳細はトンネル施工等検討委員会 有識者委員会より）

現時点では、陥没や地中空洞のメカニズムの特定には至っていません。一方、小泉淳東京外環トンネル施工等検討委員会委員長は「掘ってみなければわからない」「地盤が悪い」などの発言を行なっています。特殊な地盤を理由とする開き直りのような姿勢は許されません。

特殊な地盤であれば事前調査の上で対策が取られるべきであり、大深度地下使用を過信し徹底した調査も行わないまま掘進を強行した事業者、工事の危険性を軽視し事業を認可した国の責任は重大です。

メカニズム特定には至らず…

陥没等が発生する危険エリアとなれば、不動産の売却すら困難になることも予想されます。事業者の責任で補償を徹底すべきです。



日経新聞が衛星データを解析 地盤沈下と隆起も明らかに…

日本経済新聞による衛星データの解析では、大深度地下トンネル工事の直後、調布市の住宅街で2~3センチメートル程度の沈下と隆起が発生したことが明らかになりました（2020年12月18日付）。

■大深度地下法は完全に破綻

大深度地下使用により「地上には影響はない」とする工事で、地上への酸欠気泡噴出、騒音・振動と家屋損傷、液状化等の地盤変位、そして遂に人命に関わりかねない重大な陥没事故が起きました。さらには、シールドマシンの通過により地盤沈下・隆起も発生する状況です。

住民の同意を得ずに大深度地下を使用可能とする大深度地下法の破綻は明らかです。大深度地下法が破綻している以上、外環道工事を中止し、事業の見直し・廃止を早急に行なうこと、大深度地下法の違憲性を認め廃止することが必要です。

今週のコマ

児童館存続を求める声

善福寺児童館は小学生を中心として近隣の様々な団体や住民が一体となり子育て拠点として培ってきました。説明会では、それぞれの立場から児童館の必要性が訴えられました。地域の宝である児童館を守るべきです。



様々な機会におやじの会も協力。写真のマスクマンは私。

12月25日、外環訴訟原告団は「東京外環道都市計画事業延伸差止訴訟」を提訴します。引き続き、訴訟へのご支援をお願い致します。